

国際公共経済学会第24回大会は、2009年12月5日(土)、6日(日)、東洋大学白山キャンパス(東京都文京区)において、「分権新時代—国・地方関係のイノベーション—」をテーマに開催します。

この大会では、塩川正一郎東洋大学総長(元財務大臣)、田中一昭大学基準協会専務理事(元道路公団民営化推進委員会委員長代理)、竹中平蔵慶應義塾大学教授(元総務大臣)、松沢成文神奈川県知事、中田宏横浜市長(市長辞任を表明なさいましたが、「前市長」としてシンポジウムに出席いただくことで合意しています)をお迎えして、分権について幅広い議論を進めようと考えています。みなさまのご参加をお誘いします。

また、本学会では学会員を増やし、学会の基盤強化に取り組んでいるところです。本ニューズレターに「入会申込書」を添付いたしました。会員のみなさまのご協力をお願いいたします。(推薦人が2名となっておりますが、事務局でも対応できますので、空欄のままでもお申し込みをお受けいたします。)

事務局長 松原聡

- 今号の目次
1. 第24回研究大会のお知らせ
 2. 第2回 CIRIEC 社会的経済コンファレンス
 3. 2009年度個人会費請求
 4. 第28回 CIRIEC 国際大会について
 5. Edgard Milhous Prize (エドガー・ミヨー賞) 創設

1. 第24回研究大会のお知らせ

1. 大会趣旨

我が国における国と地方の関係は、中央集権の度合いが高く、分権の必要性が長く議論されてきた。その中で、小泉内閣では「三位一体」の改革として一定の分権が進められた。

一方、自治体の規模も問題とされてきた。基礎的自治体は「平成の大合併」で自治体数は3,300から1,800へと大きく減少した。しかし、都道府県については、明治以来の47のままであり、そこで都道府県合併、道州制が議論の俎上にのぼるようになった。さらに、自治体の経営についても、より効率的な経営を目指して、企業的な経営の導入や民間への委託がはかられてきたところである。

今、国と地方の関係を抜本的に再検討する時期にきていると思われる。また、政治的にも、分権、道州制は今後大きな課題となる可能性が高いと考えられる。本学会では、「分権新時代—国・地方関係のイノベーション—」をテーマとして研究大会を開催し、することとした。本大会での議論が、今後の各界での分権の議論の一助となることを期待している。

会員各位の積極的な参加をお願いしたい。

2. 報告募集

(1) 共通論題「分権新時代—国・地方関係のイノベーション—」

12月5日 10:00~12:00

(2) 自由論題

12月5日 10:00~12:00

報告を希望される方は、**9月25日(金)までに**、「第24回大会報告希望」と明記し、①共通論題報告、自由論題報告の別、②報告テーマ、③報告要旨(1,000字程度)、④氏名・所属・連絡先(住所、電話、FAX番号、メールアドレス)を電子メールか FAX でお送りください(書式自由)。

E-mail : japan@ciriec.com

(同報のメールアドレスに fujii7@toyonet.toyo.ac.jp を加えてお送りください)

FAX : 03-3945-7415 (東洋大学経済学部 学会事務局)

なお大学院生の報告募集はすでに終了しています。また報告の可否について、10月6日までに決定してご返事します。報告が認められた方は、10月31日までに報告概要(4,000字程度)の提出をお願いいたします。

3. 大会プログラム(案)

【2009年12月5日(土)】

◇第1セッション<共通論題報告><自由論題報告> 10:00~12:00

◇第2セッション<分権時代の地方制度> 13:00~15:00

(共催: 東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻・NPO 法人マニフェスト評価機構)

コーディネーター: 松原 聡 (東洋大学)

パネリスト: 竹中平蔵 (慶應義塾大学)

松沢成文 (神奈川県知事)

田中一昭 (大学基準協会専務理事・拓殖大学名誉教授)

◇第3セッション<アジアの社会的企業・日本の社会的企業—ボトムアップによる新たな地域社会構築をめざして—>

(CIRIEC International セッション) 15:00~17:00

(共催: 日本 NPO 学会、EMES、OECD-LEED、社会的企業研究会^{ほか}: 一部交渉中)

共同コーディネーター: 今村 肇 (東洋大学)

栗本 昭 (生協総合研究所理事・主任研究員)

牧野松代 (兵庫県立大学)

田端和彦 (兵庫大学)

ゲストコーディネーター: 藤井敦史 (立教大学コミュニティ福祉学部)

桜井政成 (立命館大学政策科学部) ^{ほか} (交渉中)

パネル・ディスカッション: 上記のコーディネーターの一部およびアジア・ヨーロッパの共催組織からのゲストによる共同研究報告とクロストーク・ディスカッション

◇懇親会 会費 5000円 スカイホール 17:00~19:00

【2009年12月6日(日)】

◇第4セッション<院生報告><修士論文賞報告> 10:00~12:00

◇第5セッション<分権新時代の公民連携>

(共催：東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻・NPO 法人マニフェスト評価機構)
13:00～15:00

コーディネーター：佐野修久（香川大学）
(詳細未定)

◇第6セッション<分権新時代の自治体経営>

15:00～17:00

コーディネーター：白石真澄（関西大学）
問題提起：塩川正十郎（東洋大学総長）
パネリスト：中田 宏（横浜市長）
上山信一（慶應義塾大学）
根本祐二（東洋大学大学院公民連携コース主任）

◇総会 17:00～17:30

4. 日程・会場

12月5日(土)				12月6日(日)			
9:30	受 付			受 付			
10:00	共通論議 (井上円了ホール)	一般報告A	一般報告B	一般報告C	院生報告A	院生報告B	院生報告C
12:00	昼 食			昼 食			修士論文賞
12:50	開催校挨拶・会長挨拶 (井上円了ホール)						理事会
13:00	シンポジウム「分権新時代の地方制度」 (井上円了ホール) パネリスト 竹中平蔵(慶應義塾大学) 松沢成文(神奈川県知事) 田中一昭(拓殖大学名誉教授) コーディネーター 松原 聡(東洋大学)			シンポジウム「分権新時代の公民連携」 (井上円了ホール) 問題提起 塩川正十郎(東洋大学総長) コーディネーター 佐野修久(香川大学)			学会賞 審査委員会
15:00	シンポジウム CIRIEC Internationalセッション (井上円了ホール) 「アジアの社会的企業・日本の社会的企業 —ボトムアップによる新たな地域社会構築をめざして—」 共同コーディネーター 今村 肇(東洋大学) 栗本 昭(生協総合研究所) 牧野松代(兵庫県立大学) 田端和彦(兵庫大学) ゲストコーディネーター 藤井敦史(立教大学) 桜井政成(立命館大学) ほか パネル・ディスカッション 上記のコーディネーターの一部および アジア・ヨーロッパの共催組織からのゲストによる共同研究報告と クロストーク・ディスカッション			シンポジウム「分権新時代の自治体経営」 (井上円了ホール) 問題提起 塩川正十郎(東洋大学総長) パネリスト 中田 宏(横浜市長) 上山信一(慶應義塾大学) 根本祐二(東洋大学) コーディネーター 白石真澄(関西大学)			
17:00	懇 親 会 (スカイホール)			総 会			
19:00							(井上円了ホール)

東洋大学白山キャンパス 5号館(井上円了記念館)、2号館
〒112-8606 東京都文京区白山5丁目28番20号
(都営地下鉄三田線「白山」駅、東京メトロ南北線「本駒込」駅下車)
TEL: 03-3945-7415 (松原研究室 学会事務局)
E-Mail: japan@ciriec.com

5. 実行委員会

実行委員長 今村 肇(東洋大学、学会副会長)
実行委員 松原 聡(東洋大学、学会事務局長) 塩見 英治(中央大学、学会会長)
穴山 悌三(東京電力、学会理事) 澁澤健太郎(東洋大学、学会理事)
和田 尚久(作新学院大学、学会理事) 根本 祐二(東洋大学)

2. 第2回 CIRIEC 社会的経済コンファレンス

日 程：2009年10月1日～2日
開催場所：スウェーデン・エステルズンド(スウェーデン中部)
テ ー マ：The Social Economy in a world facing a global crisis
Web サイト：http://www.socek.se/ciriec_research_2009

学会ホームページに Information and Call for Papers を掲載しています。参加希望の方は、事務局までご連絡ください。日本からは、今村肇先生(東洋大学)が報告されます。

3. 2009年度個人会費請求

当学会は、2008年12月1日より新年度に入りました。つきましては、2009年度(2008年12月1日～2009年11月30日)の個人会費8,000円を未納の方は、同封しました振込用紙で納入をお願いいたします。なお、2007年度、2008年度未納の方は、併せて納入をお願いいたします。

会費未納の会員は、学会誌受領、大会参加、連携団体の会合出席等の会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意ください。

4. 第28回 CIRIEC 国際大会について

日 時：2010年5月16日～19日
場 所：ドイツ・ベルリン
テ ー マ：Public and social economy in the economic crisis : supporting sustainable development

詳しくは、学会のホームページをご覧ください。多数の会員の皆様の参加をお待ちしております。お申し込み等、不明なことがありましたら事務局までご連絡ください。

5. Edgard Milhous Prize (エドガー・ミヨー賞) 創設

2010年ベルリン大会から、30歳以下の若手で CIRIEC の活動に対して高い貢献が期待できる研究者/実務家の表彰制度がスタートします。賞金は1万ユーロ。各ナショナル・セクションから最大2名の推薦をすることが出来ます。また、業績は必ずしも英語である必要はなく、その場合は10ページの英語要約を添付すれば大丈夫です。基本的には博士論文ないしはそれと同等の研究業績という認識で臨むとのことです。

受賞者は2010年ベルリン大会において表彰式が行われ、プレゼンテーションの機会が与えられます。

ぜひ候補の方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡下さい。

☆学会情報は、最新のものをホームページ <http://ciriec.com/> に掲載してありますので、適宜ご参照ください。